愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保健体育教育法Ⅰ		
担当者(Instructors)	小島 正憲,山村 伸	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	4	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業では、学習指導要領に沿って体育分野の目標や内容を学習する。その際には、様々な運動の特性について理解したうえで、技能に応じた指導方法について模擬授業や省察を通じて考察していく。また、特性に応じた情報機器や教材の活用についても検討し、指導上の留意点や評価の観点を踏まえたうえで授業設計をする方法を身に付ける。以上の内容を講義形式及び演習形式で行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義演習
授業の方法(Class method)	授業方法のフローとして、「①学習指導要領についての全般を理解する→②各領域の教材研究をする（情報機器の活用）→③学習指導案を作成する→④模擬授業を行う→⑤相互評価シートを用いて振り返りをする」などの方法を用いる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要について	授業の進め方や注意点等を説明する。また、簡易的な自己紹介をする。	□
第2回	学習指導要領の理解	学習指導要領の改訂の経緯・趣旨・要点を理解する。	□
第3回	学習指導要領における体育分野の目標・教育内容及び全体構造	学習指導要領における、体育分野の目標・教育内容及び全体構造を把握し、理解する。	□
第4回	体育の学習指導について	多様な指導方法（分習法・全習法、集中法・分散法等）を理解する。	□
第5回	学習目標及び領域の構成、学習評価の考え方	学習目標及び領域の構成、学習評価の考え方を把握し、理解する。	□
第6回	学習内容について	運動の特性、学習内容の指導上の留意点を理解する。	□
第7回	学習指導案について	学習指導案の構成の理解、具体的な授業設計の方法を理解する。	□
第8回	教材研究について	学問領域との関係、実践研究をもとにした教材研究の必要性を知り、自ら考える。	□
第9回	学習内容及び教材研究（１）：体つくり運動	体つくり運動における、発展的な内容の探求をする。	□
第10回	学習内容及び教材研究（２）：器械運動の技（情報機器の活用）	器械運動において、技をより確実に習得するための方法を学ぶ。また、その際には情報機器の活用方法も理解する。	□
第11回	学習内容及び教材研究（３）：陸上運動の動作（情報機器の活用）	陸上競技において、より確実なフォームを身に付けるための方法を学ぶ。また、その際には情報機器の活用方法も理解する。	□
第12回	学習内容及び教材研究（４）：水泳の泳ぎ方（情報機器の活用）	水泳の泳ぎ方を、より確実に習得するための方法を学ぶ。また、その際には情報機器の活用方法も理解する。	□
第13回	学習内容及び教材研究（５）：球技（ゴール型・ネット型・ベースボール型）	各種球技（ゴール型・ネット型・ベースボール型）の特性を理解した、発展的な学習内容の探求をする。	□
第14回	学習内容及び教材研究（６）：武道	武道の発展的な学習内容の探求、指導上の留意点を理解した教材研究の必要性を知り、自ら考える。	□
第15回	学習内容及び教材研究（７）：ダンス（情報機器の活用）	ダンスにおける、発展的な学習内容の探求をする。また、その際には情報機器の活用方法も理解する。	□
第16回	学習内容及び教材研究（８）：体育理論（オリンピック・パラリンピック）	オリンピック・パラリンピックを題材に、文化としてのスポーツの意義と多様性を把握し、理解する。	□
第17回	学習指導案の作成（１）	各領域の学習指導要領をもとに、授業設計と学習指導案を作成する。	□
第18回	学習指導案の作成（２）	指導上の留意点、評価方法等から学習指導案を再検討する。	□

第19回	模擬授業(１)：ゴール型	ゴール型の種目に対する生徒の認識・思考、理解力等を考慮した、授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第20回	模擬授業(２)：ゴール型	ゴール型の種目に対する個々の技術に応じつつ、指導上の留意点を考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第21回	模擬授業(３)：ベースボール型	ベースボール型の種目に対する学習内容の探求、指導上の留意点を考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第22回	模擬授業(４)：ネット型	ネット型の種目に対する学習内容の探求、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第23回	模擬授業(５)：集団行動	集団行動に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第24回	模擬授業(６)：ラジオ体操	ラジオ体操に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第25回	模擬授業(７)：体つくり運動	体つくり運動に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第26回	模擬授業(８)：器械運動【マット運動】	器械運動【マット運動】に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。加えて、技能を高めるための情報機器や教材の効果的な活用方法を理解する。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第27回	模擬授業(９)：器械運動【跳び箱運動】	器械運動【跳び箱運動】に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。加えて、技能を高めるための情報機器や教材の効果的な活用方法を理解する。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第28回	模擬授業(１０)：器械運動【鉄棒運動】	器械運動【鉄棒運動】に関する、学習指導への位置づけを考慮した授業設計をする。加えて、技能を高めるための情報機器や教材の効果的な活用方法を理解する。授業後は即座に、相互評価シートを用いて振り返りをする。	□
第29回	地域の実態に応じた、野外活動の指導法及び指導上の留意点	地域の実態に応じた、野外活動の指導法及び指導上の留意点を把握し、理解する。	□
第30回	本授業のまとめ	本授業のまとめとして、授業全体の振り返りをし、授業感想を記述する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、学習指導要領をよく読んでおくこと（毎週2時間）。また、事後学習として本授業で学修したことを含め、「教員採用試験」に向けて積極的に勉強をしていく（毎週7時間以上）。さらに、日頃から教育及び体育に関連する記事や情報に目を向け、自分なりの考えを持ち発言できるようにする。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

特段、模擬授業に関しては即時的なフィードバックを行う。その際の具体的なフィードバック法として、ビデオカメラやプロジェクター等の情報機器を積極的に活用し、模擬授業の映像を記録することでその後の詳細な振り返りを行う。また、その振り返りの際には相互評価シートも活用し、模擬授業後のフィードバックをより深化させる。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	「基礎的な学習指導理論を踏まえた授業設計」を授業のテーマとする。また、中学校・高等学校（体育分野）の学習指導要領の目標・内容の理解を深め、具体的な授業場面を想定した学習指導案の作成及び、質の高い模擬授業の方法を身に付ける。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%		100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価の内訳は【実技試験（模擬授業）60%、レポート（学習指導案）30%、平常評価（授業の参加）10%の計100%】とし、全て授業内に実施する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）」東山書房	978-4-8278-1560-3
2	文部科学省「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」東山書房	978-4-8278-1567-2
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	勝亦紘一、家田重晴著、新しい体育の授業つくり、大日本図書	978-4-477-02631-2
2	「高等学校学習指導要領　保健体育」(平成30年3月　文部科学省)	
3	「中学校学習指導要領解説　保健体育編」(平成29年7月　文部科学省)	
4	「高等学校学習指導要領解説　保健体育編」(平成30年７月　文部科学省)	
5		